



2022年4月12日

各位

会社名 株式会社エコス
代表者の役職氏名 代表取締役社長 平 邦雄
(コード番号：7520 東証プライム市場)
連絡者の役職氏名 常務取締役 村山 陽太郎
(TEL 042-546-3711)

役員退職慰労金制度の廃止及び 譲渡制限付株式報酬制度の導入に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、役員報酬制度の見直しを行い、役員退職慰労金制度の廃止を決議するとともに当該廃止に伴う打切り支給をすること、及び譲渡制限付株式報酬制度(以下「本制度」といいます。)の導入を決議しました。これに伴い、当社の取締役(社外取締役を除く。以下「対象取締役」といいます。)については、本制度に関する議案を2022年5月26日開催予定の第57回定時株主総会(以下「本株主総会」といいます。)に付議することといたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 役員退職慰労金制度の廃止

当社は、本日開催の取締役会において、役員退職慰労金制度を本株主総会終結の時をもって廃止することを決議し、より業績や株主価値との連動性を高めた役員報酬制度に見直すことといたしました。

役員退職慰労金制度の廃止に伴い、本株主総会終結後も引き続き在任する対象取締役については、本株主総会において承認を得た上で、本株主総会終結の時までの在任期間を対象とする退職慰労金を、当社の一定の基準に従い相当額の範囲内で、各対象取締役の退任時に打切り支給いたします。

なお、役員退職慰労金制度の廃止及び退職慰労金打切り支給に関しましては、指名・報酬委員会(独立社外取締役を過半数とする取締役会構成員)で慎重に審議した上で取締役会にて決定しております。

また、当社は、従来から、将来の役員退職慰労金の支給に備え、所定の基準に基づく支給額を役員退職慰労引当金として計上しておりますので、業績への影響はありません。

2. 本制度の導入目的等

本制度は、対象取締役を対象に、当社の取締役の報酬と当社の株式価値との連動制をより明確にし、対象取締役が株価上昇によるメリットを享受するのみならず、株価下落のリスクにおいても負担し、株価変動による利益・リスクを株主と共有することで、中長期的な企業価値の向上とインセンティブとして機能することを目的とした制度です。

本制度の導入に当たり、対象取締役に対しては譲渡制限付株式の付与のために金銭債権を報酬として支給することとなるため、本株主総会において係る報酬を支給することにつき株主の皆様のご承認を得られることを条件といたします。なお、2007年5月24日開催の第42回定時株主総会において、当社の取締役の報酬額は年額350百万円以内(ただし、使用人兼務取締役の使用人分給与及び賞与は含みません。)及び当社の取締役に対し、年額2億円の範囲以内でストック・オプションとして新株予約権の発行とご承認をいただいておりますが、本株主総会では、本制度を新たに導入し、当社の対象取締役に対して本制度に係る報酬枠を上記報酬枠とは別枠にて設定することにつき、株主の皆様にご承認をお願いする予定です。

3. 本制度の概要

本制度に基づき対象取締役に対して支給する金銭債権の総額は、年額 45 百万円以内とし、当社が新たに発行又は処分する普通株式の総数は、年 30,000 株以内（ただし、本株主総会の決議の日以降の日を効力発生日とする当社の普通株式の株式分割（当社の普通株式の無償割当てを含みます。）又は株式併合が行われた場合、当該効力発生日以降、分割比率・併合比率等に応じて、当該総数を、必要に応じて合理的な範囲で調整します。）といたします。

対象取締役は、本制度に基づき当社から支給された金銭債権の全部を現物出資財産として払込み、当社の普通株式について発行又は処分を受けることとなります。その 1 株当たりの払込金額は、各取締役会決議の日の前営業日における東京証券取引所における当社の普通株式の終値（同日に取引が成立していない場合は、それに先立つ直近取引日の終値）を基礎として当該普通株式を引き受ける対象取締役に特に有利な金額としない範囲において、取締役会において決定します。なお、各対象取締役への具体的な支給時期及び配分については、指名・報酬委員会（独立社外取締役を含む取締役会構成員）で慎重に審議した上で取締役会において決定いたします。

また、本制度による当社の普通株式（以下「本株式」といいます。）の発行又は処分に当たっては、当社と対象取締役との間において、①一定期間（以下「譲渡制限期間」といいます。）、本株式に係る第三者への譲渡、担保権の設定その他一切の処分を禁止すること、②一定の事由が生じた場合には当社が本株式を無償取得することなどをその内容に含む譲渡制限付株式割当契約が締結されることを条件といたします。本株式は、譲渡制限期間中の譲渡、担保権の設定その他の処分をすることができないよう、譲渡制限期間中は、対象取締役が野村証券株式会社に開設する専用口座で管理される予定です。

なお、本株主総会において本制度に関する議案が承認されることを条件に、当社の取締役を兼務しない執行役員に対しても、本制度と同様の譲渡制限付株式報酬を導入する予定です。

以 上